

Q1.

役所の方にはコロナ禍の中、要望を受け入れていただき、このような場を設定していただき、ありがとうございます。

今回の民営化については、4月からの移行に向けて今日に至るまで役所と議員、議会で粛々と進められて、市民利用者には現場での簡単な文書の張り紙等で案内。議員からの報告もなし。議員さんも来るが、我々の声を聞いてくれない。市議会では90%以上決定されるとの事。今更、利用者の私が意見を述べても遠吠えにすぎない。見解を数点にまとめている。

30分ほどの説明で理解できる部分もあるが、1/15に提案した要望回答の疑問も含めて納得いかない部分を何点かピックアップしている。

1 この施設は誰のために、何のために作られたか

私は、市民の為に市民の健康確保の為に作られたと認識していて、大いに利用している。利用者は年間10万人を超えている。利用されている分、健康増進になっていて市の財政負担軽減になっている。

2 財政負担が大きい

財政負担が大きいのは理解するが、市民の健康推進と財政事情どちらが大事か。財政悪化の要因は多岐にわたると思われる。

市民の代表である市議会で認め、事は進み、残念である。後は正式契約に至るまででしょうが、しっかりと市民の利用者の声を反映させてください。

3 公共施設の運営が適正な競争を阻害。民業圧迫するので民営化する。

阻害している理由。具体例は何か？

休業された、廃業された業者があるのか？ ないと思う。

本来、自由競争の中で民業は同じ様な公的営業の有無に関わらず独自のスタンスで営利を追求する。

公的に圧迫されて苦しいから、税金、設備を利用して運営するか？ ないでしょう。圧迫されてないでしょう。

民間は自分達のスタンスでやっている。公営がやっているから困ったとは言っていない。

近隣の自治体も公営でやっているのに河内長野だけ民営化するのか不思議でならない。

この施設の営業は何ら問題ないので、民業圧迫の言葉を撤回してほしい。

4 民営化した後の6月から再オープンするそうだが、営業時間や料金、設備等は業者に設定するとの事だが、丸投げではないか。

利用者は、現場でどうする？なぜ？と疑問になる。

市民の健康増進のためになるプログラムにしてほしい。

今までは委託事業方式（15年間）だが、今回はプロポーザル方式。これは何？
業者が役所にこういう事をやると提案するという形。

5 市の保有する施設を集約化で財政縮減を図るとは、どこをどの様にされたのか？

広報見ても記事など見たことない。フォレストだけ 3 月末までで切り替わると片隅に記載。そして受付の入り口に張っただけ。その様な案内はどうか。

この施設をつくった母と呼ばれる方が事情で来られず、資料を渡され説明会に行って来いと託された。嘆いて泣いている。こんな事なら健康推進課はいらない。本来、市民のための設備ですからこの様な事になってはならない。5 年前もトラブルあった。

A1.

(上記ご要望は、)紙面でいただいているのでこの内容をしっかり中身確認して、今後協議していく中で検討させていただきたいと思います。

Q2.

ここに来て資料 2 枚いただいてその中で経緯がやっとわかった。報告の中で、12 月の市議で決まったとあった。

共産党の会報を見たら最初の計画は 10 年で 5 億数千万円が最終的には 1 億 5 千万円になった。市議会の中でも色々質問あったが明確な了解もない中で決定事項になった。その部分について説明していただきたいのと、ほとんどの方は市が全く民間に丸投げではなく、これからも関わっていくと聞いたので安心している。

今の施設が料金体系、プログラム体系がどの様になるのか一番利用者にとっては心配事。

ほとんどの方（おそらく 50%以上の方）が、50 歳以上の人で多く利用されているので、65 歳以上の年金生活者がウエイトを占めているので料金体制とプログラムが気になるころだろう。

この辺を含めて、市と尾崎様の方で事細かく決めていただいて、3 月上旬の説明会を心待ちにしようと思っている。

A2.

(市)

ご質問があった共産党のチラシの中で当初 5 億ぐらいの賃料を見込んでいたのが 10 年間で約 1 億まで減ったというところがございます。これにつきましては、市場の中でそれと、この施設の性質上、市と連携をしていく中での民営化という事で、協議の中で色々な要望を尾崎スイミングに出していく訳ですが、一定のしほりがある中での運営という事で、施設の賃料は、できるだけ小さくして、市との連携をしっかり図っていただける事業者に入っていたらこうという事で決定した。

実際に 5 億という賃料を取れば、この施設を維持しようとする利用者料金にはね返ってくるという側面もある。

2 割程度まで落としてとの事ですが、議会の方からも今の施設の維持をしっかりできる様に、

今の利用者にも影響ができるだけ少なくなる様に賃料設定でご理解いただいたところです。今後、市との連携を進めていく事についてはご理解いただいております。

近年、市もこの事業だけでなく色々な事業を民間事業者と公民連携で進めている。財政厳しい中で、市単独で色々な事業をやっていくのは厳しくなっているので民間事業者を入れながら、事業を継続していくという所を第一優先させていただいたという事です。

今回のこの形態は、将来に渡ってこの施設を長く維持する為の手法という事で選択させていただいたとご理解いただきたいと思います。

プログラム、料金等に関してはまだ決定おりませんが、現状で何かご説明できる場所がありましたら尾崎スイミングスクールさんからご説明をお願いします。

(尾崎スイミングスクール)

皆さんが、一番関心持たれるところは現状とどう変わるのかだと認識しています。

料金につきましては、現状の収支を精査している。

プロポーザルの要件の中で、指定管理料は発生しない。独自コンテンツを持って運営していく形態に移行する事になる。指定管理料相当分の捻出が一つのポイントになる。乳幼児健診センターの敷地活用を絡めて 3 階フロア一体でどれくらいの収支計画になるのか日々取り組んでいる。最終的にはまだ具体化していない状況。

具体化していく事でフィットネスの利用にかかる会費等決定していくスケジュール。

今のところ正式に決定していませんが、プロポーザルの中で社会通念上、適切な料金設定とする事と要件になっているので、現在の利用料金からかけ離れた料金、皆さまが利用できない料金になる事は考えていない。

この様な説明会を参考にさせていただいて本日以降の検討材料にしたいと思います。

ホームページを開設して情報公開したい、開設の日程等も市を通じて連絡したいのでよろしくをお願いします。

Q3.

財政的に厳しいのは分かるが、市民の健康推進に関わる支出を分かる範囲で教えてほしい。近隣の富田林や大阪狭山に比べてどうなのか。市の全支出のうち市民の健康推進にかける支出の割合が分かれば教えてほしい。

もし、河内長野市だけ極端に少ないのであれば市民の健康推進に力を入れてほしいと思うし、近隣とさほど変わらない様ならそれなりに納得しなければならないだろう。

尾崎スイミング様に個人的な要望なのだが、毎日プール使わせてもらっているが、子どものスイミング教室と大人が自由に使える時間が分かれるが、個人的に大人が自由に泳げる時間帯、スペースが少なく感じている。

これから、尾崎スイミング様がジュニア向けのスイミングにシフトしていくとなれば、子どもの時間帯が増え、大人が自由に使える時間帯が少なくなっていくのではないかと不安に思っている。できれば、大人が自由に使える時間帯、コースをこれまで通り、少なくとも

もこれ以上少なくしないでほしい。

A3.

(市)

1点目につきましては、可能な範囲でお答えさせていただきます。

財政的に厳しい中で健康推進にかかる支出という事ですけれども、健康推進課の財政規模としましては支出 8 億ぐらいあるが、それが一概に他市と比べることは組織もかなり違いますし、健康推進課だけではなくて高齢部門、福祉部門も含めて健康に取り組んでいますので、なかなか他市と比べる事はできない。この本市の健康推進課の 8 億の中にも健康支援センターに関わる予算ですとか、それ以外にも皆さまのように、健康を生活の一部として取り入れてくださっている方をもっともっと増やしたいと日々仕事をしている中で感じておりますので、そのためにもこの施設の運営だけではなく、がん検診の受診率の向上ですとか救急医療体制の充実、また地域での健康づくりの推進も含めて今後も引き続き充実させていきたいと思っておりますのでご理解いただきますようによろしくお願いいたします。

(尾崎スイミングスクール)

スイミングスクール(=ジュニアスイミングスクールと定義させていただく)と大人の皆様のコースの共存というご質問と理解をさせていただきます。

現在の状態で、ジュニアスイミングスクールが1週間に23コマ展開しておられるという事は、我々もリサーチさせていただいてるのですが、40年間スイミングスクールを運営させていただいてる中で、既存の我々の施設のプールのレーン数が半分になっている。

一番大きな施設、泉佐野校では7コースプラスサブプールが3コースの10コースのプールでスイミングスクールを運営しているのですが、それと比較しますとレーン数が3分の1以下になっておりますので、そこの運営を既存のスイミングスクールと少し違ったものに、一工夫しないといけないと考えておりますので、現在、スイミングスクールも時間、プールの有効活用の一環としてジュニアのスイミングスクールも継続して開講したいと考えているのですが、現在の23コマを維持するとしてもレベル別に利用を分けたり、フリーコースを時間ごとに共存させていただいたり今計画段階に入っておりますので、ご質問者様から「できれば現状維持」のご要望をいただきましたので、その部分についてもしっかりと留意致しまして検討材料にさせていただきたいと思っております。

いずれにしてもこの3コースを、この広さのプールをどう使っていくかという事は、我々にとっても大きな課題ではありますので、この様なお要望をお聞きして、さらなるプログラム、コースを検討材料にさせていただきます。

現状維持をご希望されているという声も多いという事は非常に理解しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。回答になっているかどうかわかりませんが、現状維持という事は少し念頭においていきたいと考えております。

Q4.

健康増進機能の維持であって、スイミングスクールではない。泳力を向上させるところではない。もちろん子どもたちはその方向ですが。

私も、御社に優先交渉権が決まった時点で、翌日、尾崎校にプログラムを送ってもらった。その事で色々と懸念するところがいくつもある。

具体的に申しますと、今でしたらプールとスタジオとどれに行っても良いコースがある。その数の制約もない（今はコロナで制約あるが）。尾崎校の場合、プールだけの中身としてレッスンとフリーコース、コースが別である。

例えばレッスンした後に練習したい。おさらいをしたい。尾崎校をベースにすると、それがこれからできなくなる。おさらいをしたい方が多い。2割、3割の方がレッスン後におさらいをやっている。フリーコースでも夜までやっていますから、尾崎校の場合、13時～15時の2時間。夕方したいんですという方も結構おられるが、その方が来れなくなる。

もっと気になるのが、大人のスイミングレッスンは4泳法のみであること。

今は平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎコースなど特化した泳法を決めたレッスンが大人気。

自分の体に時間をかけて、大切な自分の体の維持を図ろうという方が多く、シニアについては泳力向上を目指す方はあまりないかと思う。ベビーや幼稚園児にとっては、これは大事なことだと、共感します。

尾崎校に問い合わせると、アクアビクスが有りますとの回答であったが、私が聞いているのは、大人のレッスンのことである。大人のレッスンというのは、初心者の初級レベルありの、結構泳げる方レベルありの、もちろんマスターもあります。レベル分けしたレッスンがある、泳法を決めたレッスンがある。この辺が尾崎校にはない。

一番大きいのがスタジオとセット関係がない。これが一番引かかる。

生活スタイルが変わってしまうことを危惧している。

私はこの時間のヨガと泳法レッスンを組んだ。きっちり自分の毎日のスケジュールが決まっておられると思う。

例えば、ヨガでもHOSさんはメニューが豊富。夜のレッスンもある。人気レッスンは1レッスンは23名で5～8人抽選でアウト。それぐらい人気がある。人気のあるレッスンはやっぱり大事にしていきたい。

そういう中で、もちろん行政第一に考えておられるわけですけど、前もって、企業の方針でお決めになる前にこのレッスンがどんな人気とか、こういう考え方の人が多いですよとか、私はスイミングもスタジオも週8つも9つも参加していますので有志で前もってこの様子の話を申しあげる、ご相談する場を設けていただきたいなどお願いがあります。客観的に265人の第一次署名あげました。その後また15名、280人が何を思っているのか。どんな風になるのだろうか。

まず、メニューが、年間スケジュールがどう変わるのか。ほとんどの方9割以上の方はこ

こに関心がある。

説明会というのはどう変わるのかを知りたいという事が大きな大関心。

説明会一つが行政手続きをしているわけではなくて、色々ルールあるのでしょうか。前もって、お話しを聞いていただければありがたい。

A4.

(尾崎スイミングスクール)

ご質問に対してのご回答ですが、我々、現在運営しているスイミングスクール、施設という事なんですが、皆様のおっしゃられる通り、純粋なスイミングスクールと総合型のフィットネスクラブ（スポーツクラブと表現しますけれども）は、その事業形態、施設形態というのは相違するものであるという事は我々も理解しております。

以前、40年の会社の歴史の中で総合フィットネスクラブの運営を手掛けていた事はありますので、今の健康支援センター様の運営形態は一応そのまま踏襲をさせていただき予定を考えております。

今の健康支援センターの形態を、我々運営している尾崎校や泉佐野校のスイミングスクールという形態に完全に転換するという予定はありませんので、まずはご安心いただきたいと思えます。

その中で、プール、マシンジム、スタジオというものの機能をこのまま踏襲をさせていただこうと考えております。ただ、マシンジムにつきましては、ウエイトトレーニング、マシンとかは業者間の引き継ぎなどがありますので、メンテナンス状況を見ながら、一新するか否かという所、レイアウト変更するか否かという所を現在検討している所でございます。スタジオにつきましても、一応、今のスタジオ、事業計画で2面という様な増設をするという提案をさせていただいておりますが、建物構造上それが可能かどうか、まだ我々もそのリサーチも完全に行っている訳ではありませんので、その計画通りいくのか、今のスタジオを少し拡張させていただくのかという様な所を検討させていただいております。

スタジオレッスン、人気レッスンの踏襲につきましても、今日は出席しておりませんが、実際にレッスンプログラムの社内担当が、実際に今のHOSのご担当者の方と色々ヒアリングを開始させていただいております。レッスンプログラムのインストラクターにつきましては、こういうフィットネス業界の中ではその地域性というもの、フリーランスでインストラクターをされている方が非常に多く、その方々は、近隣の地域を巡回されている方が多いので、その方が実際に我々の会社の条件、雇用条件に見合っ、踏襲していただけるかどうか、そういう交渉を一名ずつ我々の会社の担当者が開始する予定をしております。もちろんご質問者様がおっしゃられた人気のレッスン、人気というものを利用者の数で判断するか否かも含めてそれを踏襲させていただきたいという風には考えております。

後、プールのレッスンにつきましてもご要望の多い、要約をさせていただきますと、大人の皆様のショートレッスンのようなもの、スポーツクラブでいう有料レッスンではなくショートレッスンみたいなものを少し散りばめてもらえないかという様な事で理解してお

りますので、我々、成人の皆様をシニアとか色々な特定はあまりする様な事はないですけど、シニアの皆様の運動であるとか水泳というものを楽しんでいただける様なレッスンをコンテンツの中には入れていきたいと考えております。

さきほどプールのスペースの方のお話が皆様からも出ていますが、やはりスロープを入れて3.5コースという非常に限られたスペースでもありますので、そのあたり、レッスンを入れますと、フリーですと泳ぎたいというお客様からのご要望がありますので、できればそのあたりをうまく構成をしていければという風に思っております。

プールの活用方法も、ただフリーで泳ぐだけではなく、先ほどお話しにもありました水中ウォーキングでありますとかアクアビクスであるとか、我々の世界では水泳も水中ウォーキングもすべて含めてアクアフィットネスと表現しているのですが、プール全体がアクアフィットネスの多様化によって色々な使い方が求められていますので、スロープ入れて3.5コースをいかに使っていくのかという事は我々も最大のテーマとしておりますので。

まずは、今日お話しできるのは、スイミングスクールの形態という事ではなくて総合的なフィットネスクラブ、スポーツクラブの形態として、今、事業計画を立てているという事でご安心をいただきたいという様に思います。

コンテンツにつきましては、今、ヒアリングの機会をとという事であったのですが、逆に我々の担当者が施設を少しリサーチをさせていただき、インストラクターを個々に面談をしていくという様な事で、少し機会を替えさせていただきたいと思っております。

極端な事を言いますと、私もぜひこの施設を利用させていただけたらという様な事もこれからの中では考えております。

皆様のご意見を聞いて今後の事業計画を進めていきたいという姿勢はご理解いただければと思いますので、よろしく申し上げます。

Q5.

1つ目、プロポーザルをする前に、事前になぜ、繰り返しになるかもしれませんが、なぜ会員にその相談なかったのか、その理由。

2つ目。雇用問題。こちらで働いている方が皆様社員であればいいですけど、アルバイトとかパートで来られてる方がおられると思うのですが、その方達の雇用問題。市民の方が多分働いていると思われるので、そこらへんについては、どう考えておられるのか？

3つ目。プロポーザルで条件書か仕様書は、出していますよね？こういう理由で、こういう内容で、こういう仕様で出していますよね？それは表に出んから。3月の説明会をやる予定でおられるのなら、その条件書を添付してもらいたい。市の方も一緒に参加していただきたい。

A5.

まず、1点目のプロポーザルの公募をかける前に利用者の皆様になぜ説明がなかったかという所でございます。プロポーザルをかける、公募をかけるという事はまだ決定した段階

ではなくて、あくまで今回も契約者ではない、優先交渉権者という事で今回4月以降、活用する事業者として、優先的に市と交渉できる権利を持った事業者という事になっております。今回の決定はこの契約を持って事業が決定するという事ですのでプロポーザルを始める前に説明というよりは、実際に優先交渉権者が決まった中でこういう説明をしないと具体的な事が一切言えませんので、そういう事から今のタイミングが、まだ契約を交わしていない、市としてもまだこれから交渉していく期間がある中で説明いただくタイミングが一番良かったのではないかという解釈です。

Q6.

こちらの方が説明会をしてくれと言ってから今回説明会をされたんですよね？

A6.

説明会の要望は15日にいただきましたが、それ以前から2月の初旬に、5日と7日の説明会をやるという日にちの決定はさせていただいておりました。

Q7.

それは、文書で出されていきましたか？ 承認されてました？

A7.

タイミングが15日過ぎてからの掲示という事で。タイミングがたまたま15日と合ってしまったので、要望があったから開催していると言う事になっておりますが、契約を結ぶ前の説明会は必要性があるという事で準備を進めていたという事でご理解いただきたいと思えます。

雇用問題でございますけれども、できるだけ今HOS様の方で雇用を受けているアルバイトという雇用もあれば正社員という雇用もあるかと思いますが、地域的にそういう雇用を求められる方のご意見は尾崎スイミング様に聞いていただいて、できるだけ継続して雇用いただける方向で。やはり個人との条件面は個々でございますので、そこは全員がということには、なるかならないか、調整の中でわかりませんが、市の方からもそういう事をお願いしているという状況でございます。

Q8.

市の担当部局はどこになるのか。

A8.

政策企画課と健康推進課。

Q9.

議事録は取っているのか？

A9.

今日の議事録ですか？ はい。それは、控えております。

最後、プロポーザルの仕様書でございますが、ホームページ上でも、現在公開しておりますので、皆様に配布しても全然問題ございませんので、それを紙で配布してほしいという要望がありましたら、配布する事も可能でございますので。3月の説明会は尾崎スイミングスクール様の説明会というよりは、まだ始まっていないので市が主催で3月も説明会をさせていただきます。そこで尾崎スイミングスクール様がこれから1ヶ月の間に具体的にになった内容をその場でまたご報告いただく。

先ほど、尾崎スイミングスクール様もおっしゃっていましたが、できるだけ早く皆様にお伝えしたいという事でホームページを立ち上げられて、そのホームページの中で逐次、決定した内容であるとか情報を皆様に発信できる様な仕組みを構築するとおっしゃっていただいています。

そういうホームページを見ていただきつつ、説明会に参加いただいて、またご意見をお伺いするという形になりますのでご理解の方よろしくをお願いします。

Q10.

2点お願い致します。

1点は、公開されているかどうかホームページを見ていないのでわかりませんが、プロポーザルの応募者について、何社ぐらいあったのか教えてください。

2点目、尾崎様にまだ優先交渉権だけなのでこれがパーになるかもわからないですね。優先交渉権なくなるかもしれない。この辺、お答え願いたい。それから2点目ですけどオザキ様をお願いしたい。2ヶ月閉まるという事で、もう少し短縮をお願いできないか。以上です。

A10.

(市)

まず、プロポーザルにどれだけ手を挙げていただいたかという事でございますけれども、これについては家賃設定の状況があったり、市が提示した色々な条件をつける中で当初3社から提出意向をいただいて、質問等をいただきながら、参加表明をいただいたのが2社です。で、最後提案をいただいたのが尾崎スイミングスクール様という事です。ただ、当然、今回の事業は健康支援センターの運営と市民ホールの指定管理を両方担っていただくという事で、通常の審査よりもプロポーザルの審査委員会の中でそういう能力があるかどうかの審査をやりつつ、もう一方、また別の指定管理の委員会で経営状況であるとか色々な審査を両方通られて、選定されているという事でございます。

そして、パーになる、この契約がなくなるという事があるかどうかと言う事でございますが、通常1回の審査委員会だけで終わらずのを二つの審査委員会を通していただいていますので一定の尾崎スイミングスクール様の現状とか今までの経験を認めた上でやらせていただいていますので、後、契約に向けて整うかという事でございますが、当然、優先交渉権者という事ですので、契約に至らないという可能性はあるかないかと言えば、ありま

すが、ただ、4月以降の施設の継続であるとか、皆様への影響であるとかを考えると、そこは何か何でも両者できっちりと合意をして長くここで経営していただける様な形で何か何でも契約を結びに行くという思いで調整を図っている所でございます。

(尾崎スイミングスクール)

今、工期の件ですね、短縮をご要望いただきましたので、我々としましてもこういう施設、できるだけクローズド期間を短くするというのは我々にとっても非常に重要な事であると思っております。ただ、この3階フロア全体の事業を我々、優先交渉権者として計画を立てておりますので、そちらとの兼ね合いもありまして大がかりと言ってもいいぐらいなリフォームが必要になってまいりますので、その2ヶ月をいかに短縮するかという事についてもこの場でなかなかお約束できない部分もあるのですが、工期短縮は企業側にとっても非常に重要なポイントと考えている事だけのご理解いただけたらと思っておりますので、いち早く、一日でも早く再オープンできる様に努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

Q11.

障がい者の割引はありますか？

A11.

(尾崎スイミングスクール)

そちらにつきましても料金設定に大きく関わってくる部分だと思っておりますので、割引とおっしゃっていただいた部分も原資というものが必要になってまいりますので、トータル的に捻出していけるのか収支計画の部分で考えさせてはいただいておりますが、いままでこういう優遇措置というものが存在していた事は、重々に理解しておりますので、そちらにつきましても重要なポイントのひとつとして検討してまいりたいと思っております。

Q12.

掲示の方には、6月から運用的にオープンすると。多くの人は4、5月は閉館だと、プールも併せて閉館だと思っている。行政に何うと、止めないように進めているとのことであった。nスタジオ工事するのにプールは直接関係がないです。

閉館しないように工程をすすめるのではなくて、閉館するという前提があるわけですか？お話しが違うのではないか。

A12.

(尾崎スイミングスクール)

ご質問者様がお聞きされたご回答というのが我々から直接ではないという事で、訂正してお答えさせていただくのですが、リニューアルオープンした後は、皆様に快適な環境の中でご使用していただきたいという思いがまず1点。新たに、事業計画にあらゆる世代の皆様を楽しむ、ご利用していただきたい施設にリニューアルしたいという思いがありまして、指定管理者から事業承継する事業でもない我々は認識してしまして、3階一体をリ

リニューアルさせていただく中で、フィットネスの部分も少し趣きを変えさせていただこうと考えておりますので、今おっしゃっていただいた、プール、マシンジム、スタジオを分離してリニューアル工事すべきだと心情的には理解させていただくのですが。更衣室とかもプールとマシンジム、スタジオと一体となっておりますので工事期間というのは、何か、お怪我とかありましても、こちらとしても本意ではありませんので、一定期間、先ほど申しましたが、できるだけクローズド期間というのは我々も短くしたいという思いですが、実際に工事の全容が固まって、それで尚且つ短縮できるか否かという話になって参りますので、いったん、クローズド期間を設けまして、万全の体制を整えるという事が前提になるかと思っておりますので、その部分についてはご理解たまわりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

Q13.

いただいた分で、こちらからの市民の要望書、ものすごい事、書いてあります。これ、どのレベルまで回っていますか？市長まで回っていますか？議員達まで回っていますか？市民の声、このレベルでワーワー言ってるけど、皆目を通していいのか？

A13.

お手元の紙については、本日説明会が始まる前にいただきました。
その前にいただいたご質問については、市長まで決裁を通して、回答しております。
本日いただいた紙については、作っていただいた方と相談させていただきながら進めさせていきたいと思っております。
十分な時間がなかった訳ですが、またこれから 3 月にも説明会させていただきますし、決まった分から出来るだけ情報を集めながら、そして皆様の意見を聞きながら検討をすすめていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。
本日はどうもありがとうございました。